

平成28年

3月
特集号

Special Edition

自民党・無所属 大阪府議団だより

編集・発行：自由民主党・無所属 大阪府議会議員団 <http://jimin-osaka.jp>
〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目1番22号 TEL (06)6941-0217 FAX (06)6944-2244



2番目ではなくオンリーワン!

世界都市「大阪」の確立を!

そう ま

うらべ走馬 議員は 大阪を前に進めてまいります。

■プロフィール

沢池小学校・西陵中学校・太成高校・日本大学法学部政治経済学科卒業。
(一社)茨木青年会議所・茨木商工会議所青年部所属。沢池FCコーチ、白川公民館運営委員、白川地区福祉委員。
自由民主党大阪府連青年局副幹事長。府議会教育常任委員。

府の財政は「非常事態」

貯金取り崩し過去最大710億円!

発表された28年度当初予算案では、財源不足は780億円にも上り、貯金である財政調整基金を710億円も取り崩す事態となりました。

新たな財源として「森林環境税」「宿泊税」などを加えても、厳しい財政運営は今後も続くことが予想されています。

私たちは、今の厳しい財政状況は松井知事だけの責任とは思いません。

バブル崩壊後の厳しい財政状況の中で取り崩した減債基金(将来の府債の償還財源としての積み立て)の復元が財政を厳しくしている要因の一つであることは事実です。

しかし、橋下知事時代に、**本来積むべき減債基金を積まずに1253億円の先食いをし、将来世代に負担を先送りしていたのも事実**(自民党・栗原前議員の指摘で判明)。

また、厳しい行財政改革に取り組む中でも知事肝いり事業として「クールジャパンフロントのまちづくり事業」「使える英語プロジェクト事業」「国際医療交流の拠点づくり事業」など**大した効果も出ていない事業に貴重な財源をつぎ込んできたことも事実**。

我が会派は、代表質問で財政問題を指摘しましたが「自分たちの事は柵に置いて、前人のせいや制度のせい」にする知事の姿勢にがっかりしました。

都構想に明け暮れた年月の陰で、この財政問題をはじめ、全国に比べて回復の遅い景気、企業の流出、校内暴力・不登校の増加、学力問題など、大阪には様々な課題が山積みです。

もういい加減、地に足の着いた政治を行っていただかなければなりません。

冬の会派要望

こども局・スポーツ局の設置、 こどもパスの導入などを提案

1月22日、自民党無所属府議団から松井知事に対して「府の施策推進に対する要望書」を手渡し、様々な要望・提案を行いました。

その後の意見交換で知事は「聞く耳を持たず」の姿勢でしたが、今後も様々な提案を行ってまいります。

主な提案内容

- 幼児教育の発展と質の向上
- こども・子育て支援制度
- 大阪の教育の立て直し
- 出産・子育て応援社会の実現
- スポーツイベントを起爆剤とした観光戦略
- 総合治安対策の強化
- 障がい者が社会の一員として暮らせる社会の実現
- 大阪の産業を元気にする方法 など



東日本大震災の 復興状況を視察

私たちは2月23日、24日に東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市、大船渡市、釜石市、大槌町の復興状況などを視察しました。発災から5年が経過しましたが復興は道半ばであり、私たちが訪れた時も防潮堤の工事、かさ上げ工事等が急ピッチで行われていました。現在、大阪府からは26名の職員が派遣されていますが、どの職員も高い意識と誇りを持って懸命に職務に取り組んでいました。



被災当時の爪痕が残る奇跡の一本松付近



府の派遣職員も懸命に復興支援



急ピッチで進む防潮堤工事